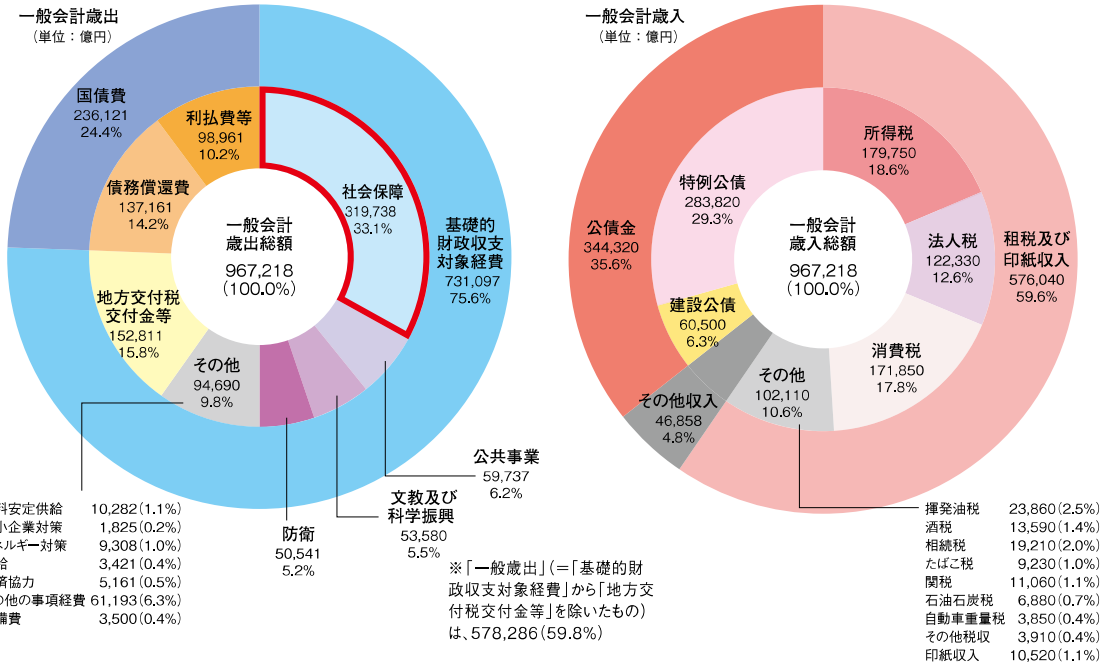


Q6 日本は、支出(歳出)を税収で賄えていないの？

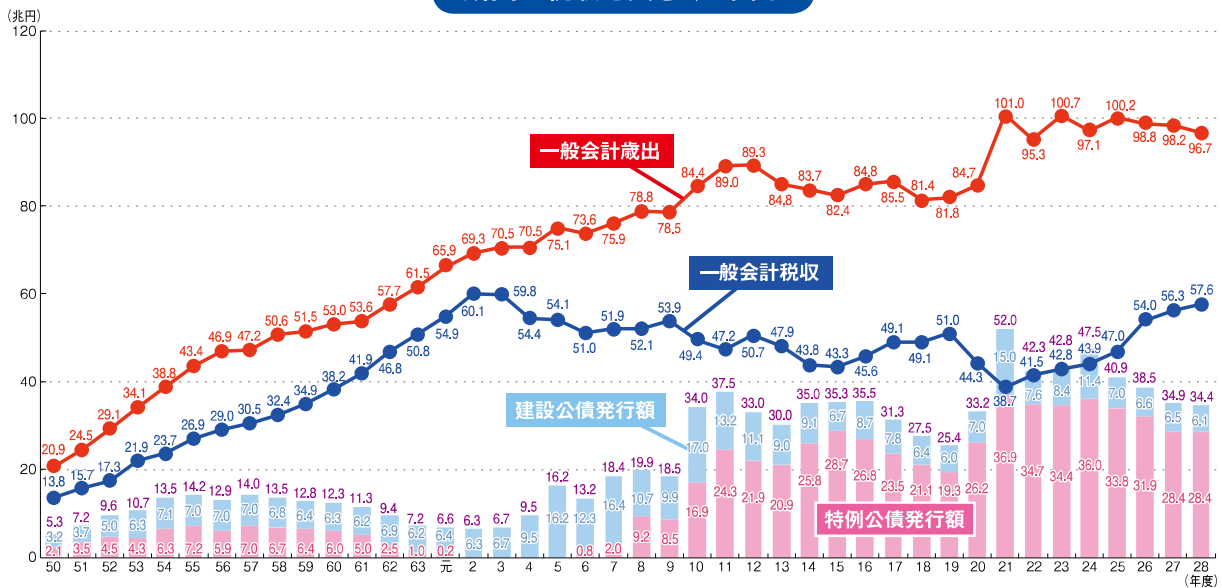
日本の財政は、社会保障費等の増加により歳出が増える(Q13参照)中で、減税や景気の影響により歳入(税収及びその他収入)が伸び悩んできた結果、歳出が歳入を上回る状況が続いています。特に、平成20年度以降、景気悪化に伴う税収の減少等により歳出と歳入の差額が拡大し、その差は借金である公債(建設公債・特例公債)の発行によって賄われています。(平成28年度当初予算では、歳出と税収の差額は、前年度と比べて縮小している。)

社会保障費は30兆円超に



(注1) 上記計数は、平成28年度当初予算ベース。なお計数については、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは合致しないものがある。
 (注2) 一般会計歳出※における社会保障関係費の割合は55.3%。

歳出が税収を大きく上回る



(注1) 平成27年度までは決算、平成28年度は当初予算による。
 (注2) 公債発行額は、平成2年度は湾岸地域における平和回復活動を支援する財源を調達するための臨時特別公債、平成6~8年度は消費税率3%から5%への引上げに先行して行った減税による租税収入の減少を補うための減税特別公債、平成23年度は東日本大震災からの復興のために実施する施策の財源を調達するための復興債、平成24年度及び25年度は基礎年金国庫負担2分の1を実現する財源を調達するための年金特別公債を除いている。
 (注3) 一般会計基礎的財政収支(プライマリー・バランス)は、「税収+その他収入-基礎的財政収支対象経費」として簡便に計算したものであり、SNAベースの中央政府の基礎的財政収支とは異なる。